



# 校長室だより

夢と志をもち、自らをきりひらくたくましい子ども

No.4. 12/6 (金) 発行 まなぶ子 たくましい子 やさしい子

ホームページアドレス <http://www.tome-svr.jp/~takarae-syo/html/>

メールアドレス [takarae-syo@city.tome.miyagi.jp](mailto:takarae-syo@city.tome.miyagi.jp)

## 5年生の理科の学習

先月20日に5年生の理科の授業研究を行いました。「物のとけ方」という単元で、目標は、「①食塩とミョウバンを使い、実験をとおして物が水に溶けるときの決まりについて捉える。②物が水に溶けるときの決まりを利用して、溶けている物を取り出せることを捉える。」というものです。

20日は、15時間扱いのうちの2時限目を教職員全員で参観しました。この時間のねらいは、「物が水に溶けたときの重さについて考え、食塩を水に溶かす前と後の重さを調べ、物は水に溶けても全体の重さは変わらないことを理解することができる。」です。

最初に学習課題を確認した後、一人一人予想を立て、グループ内で共有しました。担任は、予想の理由をしっかりと考えるよう促し、次に学級全体で共有しました。

その後は、予想を確かめる実験にとりかかりました。実験をする際は、調べたい事以外の条件をそろえるという「条件制御」について再確認させて実験に向かわせました。

食塩を溶かす前は何グラムで、食塩を溶かした後は、何グラムだったかという数字を各班とも記録しました。重さは変わるのか変わらないのか、どの子も興味津々で計量器をのぞき込んでいました。

予想とその理由を考えさせたことで、より興味が高まったようでした。グループ内で、重さについての考えを交流させながらホワイトボードにまとめていました。

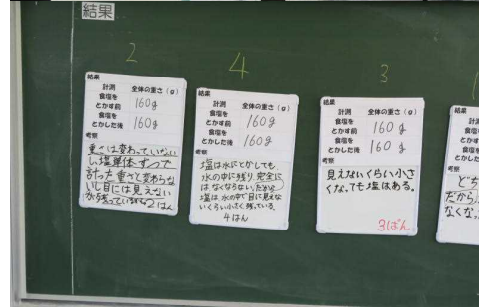
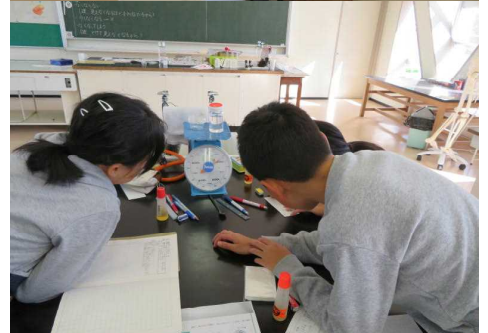
いよいよ各グループの考えの発表です。ここでは、ヒントカードで話形を示すという手立てを講じていたので、「だから」という接続詞を使ってまとめていました。どう書いていいかわからない児童にとっては、言葉を一つ投げかけただけで、自分の考えが整理しやすくなったようでした。

まとめた考えを交流したことで、更に自分の考えを深めることができました。

最後に振り返りの活動です。担任がいつも実践している振り返りの観点を示し、自分がこの時間に何を学んだのかを整理しました。この時間の観点は、①分かったこと、②大事だと思ったこと ③次やりたいことの3点でした。どの子もこの授業全体を振り返って、自分の言葉で整理してノートに記述していました。

この振り返りをする中で、児童は「この時間は〜〜〜ということが分かった。」と学びの足跡を残すことができたのではないかと思います。

授業は積み重ね・積み上げが大事だと考えています。どの教科でも1時間の流れを重視し、児童にとって「腑に落ちない授業」ではなく「腑に落ちる授業」を展開していきたいと思っています。学力を高めるべく教職員で授業の成果や課題を話し合っていきたいと思っています。



## 3年生の理科の学習

今月3日に3年生の理科の授業研究を行いました。「明かりをつけよう」という単元で、目標は、「身の回りの明かりに興味をもち、物には電気を通す物と通さない物があることを捉えたりして電気の回路についての考えをもつことができるようにする。」です。

当日は、6時間扱いのうちの3時限目を教職員全員で参観しました。この時間のねらいは、「実験結果を発表し、豆電球の明かりがつくつなぎ方とつかないつなぎ方を比較して、電気の通り道について考え、まとめることができる。」です。

最初に前の学習活動を想起させた後、学習課題を確認しました。「豆電球とかん電池をどのようにつなぐと、明かりがつくのだろう。」という課題のもと、担任が「予想シート」を配布し、各自の実験活動に進ませました。どの子も一人一人実験道具を与えられたので、自分の考えを自分なりに調べ、次々と予想シートに明かりがつくつなぎ方とつかないつなぎ方を記入していました。



実験の後、実験結果を考察し、ノートに記述しました。実験道具や予想シートを一人一人に配布したので、子どもたちは主体的に実験活動に取り組むことができました。また、結果を自分なりに比較することができたので、様々な気付きを促すことにつながりました。理科の思考力を高める場面となりました。



その後、グループになり、自分たちの予想シートを比較し、共通点を話し合いました。明かりがつくつなぎ方とつかないつなぎ方を分類して、気付いたことを話し合っていました。

来年度から学習指導要領が全面実施となりますが、まさにこの場面は他者と考えを交流し、対話的に学ぶ場面だと思いました。他者の考えに触れ、自分の考えを比較・検討し、深い考えが生まれる場面でした。言い換えれば“他者と学ぶ”といった場面だと思います。



今度は、全体で考えを交流・共有しました。個人の考えからグループの考えへ、そして全体へと広がりました。そして、みんなで明かりがつくということはどういうことなのかをまとめることができました。理科の大事な言葉、「回路」「輪」「電気が通る」「明かりがつく」の言葉に合わせてノートにまとめていました。

今後は、回路にいろいろなものをつないで、電気を通すものを探す学習を行います。また、金属はどうなのかということについても発展させていきます。



## 募金のお礼

今年度も本校では、「共同募金運動・歳末たすけあい運動」を計画委員会中心に活動しました。子どもたちが、一生懸命募金の呼びかけをしたところ、全校で3,966円集まりました。この募金は、登米市共同募金委員会 中田支所に納入させていただきます。

今後、児童青少年福祉活動やその他地域福祉事業に活用されます。ご協力本当にありがとうございました。

## お詫び

前回の校長室便り第3号で持久走大会の記録等を載せました。その中で、中学年の部の女子の第一位 佐藤未羽さん（3年：4分39秒）が大会新記録と掲載しましたが、誤りでしたので、お詫びして訂正いたします。大変申し訳ありませんでした。